

医学生による臨床実習に関するご案内

◆学生教育について

昭和大学では、人の痛みのわかる優れた医療人の育成をめざして、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・医学部附属看護専門学校の学生や研修生等が指導者の監督のもと、附属病院の現場で見学・実習・研修を行っており、患者さんの診療、看護、検査などに参加させていただいております。

患者さんにおかれましては、明日の医療を支える人材の育成のため、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

◆医学生による診療参加型臨床実習について

医学部では、教科書的な知識だけでなく、医療の現場で必要となる技能や態度を学ぶため、診療チームの一員として実際の患者さんの診療を経験すること（臨床実習）が必要です。臨床実習に参加する医学生（4・5・6年生）は、臨床実習を開始する前に必要な知識・技能・態度を評価する全国共通の試験（共用試験）に合格し、学生医「CCT：Clinical Clerkship Trainee（クリニカルークシップ・トレニー）」として認定されております。

学生医は、指導医の指導監督のもと、以下に示す医行為を行わせていただくことがあります。患者さんにおかれましては、医学生が医師となるために必要な知識、技能および態度を修得できますよう、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

* 医学生の同席や面接、診療などを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

* 学生医（CCT：クリニカルークシップ・トレニー）以外の医学生（1・2・3年生）が、一緒に見学をさせていただくことがあります。

①：必須項目（臨床実習中に実施が開始されるべき医行為）

【**診察**】 診療記録記載（診療録作成）、医療面接、バイタルサインチェック、診察法（全身・各臓器）、耳鏡・鼻鏡、眼底鏡、基本的な婦人科診察、乳房診察、直腸診察、前立腺触診、高齢者の診察（ADL、評価、高齢者総合機能評価）

【**一般手技**】 皮膚消毒、外用薬の貼付・塗布、気道内吸引、ネブライザー、静脈採血、末梢静脈確保、胃管挿入、尿道カテーテル挿入・抜去、注射（皮下・皮内・筋肉・静脈内）、予防接種

【**外科手技**】 清潔操作、手指消毒（手術前の手洗い）、ガウンテクニック、皮膚縫合、消毒・ガーゼ交換、抜糸、止血処置、手術助手

【**検査手技**】 尿検査、血液塗抹標本の作製と観察、微生物学的検査（Gram 染色含む）、妊婦反応検査、超音波検査（心血管）、超音波検査（腹部）、心電図検査、経皮的酸素飽和度モニタリング、病原体抗原の迅速検査、簡易血糖測定

【**救急**】 一次救命処置、気道確保、胸骨圧迫、バックバルブマスクによる換気、AED

【**治療**】 処方薬（内服薬、注射、点滴等）のオーダー、食事指示、安静度指示、典型的な術前・術後管理の指示、酸素投与量の調整、診療計画の作成

②：推奨項目（臨床実習中に実施が開始されることが望ましい医行為）

【**診察**】 患者・家族への病状の説明、分娩介助、直腸鏡・肛門鏡

【**一般手技**】 ギブス巻き、小児からの採血、カニューレ交換、浣腸

【外科手技】 膿瘍切開、排膿、嚢胞・膿瘍穿刺(体表)、創傷処置、熱傷処置

【検査手技】 血液型判定、交差適合試験、アレルギー検査(貼付)、発達テスト、知能テスト、心理テスト

【救急】 電気ショック、気管挿管、固定など整形外科的保存療法

【治療】 健康教育

* 侵襲性の高い医行為を行う際は、別途個別に説明のうえ、同意をいただき、実施いたします。

* ご不明な点がございましたら、担当医にお尋ねください。